

## Lesson 9 Second Blues Lick

### Lesson 9 ブルースリック#2

2つ目のブルースリックは、前回やったダブルストップとトリプルストップを使うよ。

-playing(0:14)-

(3弦4フレットB、2弦3フレットD、1弦開放Eの)3つの音をこんな感じで使うリックだ。

-playing(0:21)-

そして、(3弦4フレットBを押さえている中指を3弦2フレットの)Aまでスライドダウンして、次に3弦開放Gを経て中指で4弦2フレットEという感じでフレーズを締める。

-playing(0:37)-

(0:54)

これは僕が確か2番目に学んだブルースリックだよ。

僕はLightnin' HopkinsやBrandon McGee、Sonny Terryなどの大ファンでよく聴いていたんだけど、その中でもLightnin' Hopkinsなんかのフレーズには“使える”ものが多くて、実際僕もかなり拝借していたりするね。

-playing(1:19)-

(1:39)

実際の演奏では、(このフレーズの最後の4弦2フレットEは中指と紹介したが)薬指にしてそのままEのコードで締めることも多いね。

これは不要な弦の音を出さないためにも必要なことだよ。

(1:59)このフレーズを弾いた後、5弦開放Aの音が鳴らないようにするためにも、4弦2フレットEを押さえた指で5弦を触って音が鳴るのを防ぐ。

ギターを弾く際、いかに不要な音を出さないか…これはとても大切な課題。それにはどうすればいいかを常に考えておくべきだね。

-playing(2:28)-

#### 【注記】

- ・押弦するポイントについてRobbenは様々な言い方をしていますが、ここでは「5弦3フレットC」「6弦開放E」などの表記に統一します。
- ・翻訳モノにありがちな読み難さの一因となっている「直訳」を排除した結果、Robbenの実際の言葉とは若干違った表現になっている箇所がありますが、読者にとってのストレスのない自然な理解を促すためのものであり、Robbenが言わんとしていることはそのままに、大局を損なうことのない翻訳を心がけました。
- ・モードの解説において「○○スケール」と「○○モード」の言葉の使い分けはせず、Robbenの言に最大限忠実に訳しながらも、より理解をしやすいように、柔軟にそれぞれを言い換えて訳しているケースもあります。

翻訳 山岸敦